

教えてドクター

肝臓ってどんな働きをしているの？

肝臓は、腹部の中で最大の臓器で、成人では1200～1400g程度の重量があります。私たちが生きていく上で不可欠な臓器であり、非常に多くの役割を担っていますが、どのような働きをしているかご存じでしょうか？今回は、肝臓の役割をご紹介します。

「代謝・貯蔵」

私たちが食事を取ると、小腸から栄養分を取り入れた血液が、門脈という血管を通過して肝臓に入ってきます。肝臓では、人ってきた糖を代謝・貯蔵したり、タンパク質や脂質の代謝を行ったりしています。また、出血を止めるのに必要な凝固因子の合成も行っています。

「解毒」

アミノ酸が分解されると、アンモニアという有害な物質が産生されます。肝臓は、アンモニアを無毒化し、排出する働きを担っています。その他、薬の代謝により生じる肝臓に有害な物質や、アルコールの代謝によって産生されるアセトアルデヒドという毒性の強い物質、喫煙により

体内に入るニコチンという物質の、解毒・排出も行っています。

「胆汁合成・分泌」

脂肪の消化吸収に利用される胆汁の合成・分泌も肝臓の大切な役割の一つです。作られた胆汁は、胆管という細い管を通過して胆のうに一時貯蔵され、濃縮後に十二指腸に分泌されます。

肝臓のダメージが持続し、肝臓の体力が落ちてしまうと、これらの働きを十分に行うことができなくなります。しかし、肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれている通り、これらの働きができていなくても症状に現れにくく、病状が進行してしまうことがあります。定期的な肝機能のチェックが非常に大切ですので、健診結果や病院受診時の採血結果では、『肝機能』の数値にも着目ください！

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 消化器内科
豊留 亜衣 先生



★肝炎医療コーディネーターをご存知ですか？

右のバッジを付けた肝炎医療コーディネーターが、鹿児島県下のさまざまな場所で活動を行っています。肝臓病についての疑問や不安など、気がかりなことがございましたら、ぜひ身近な相談窓口の『肝炎医療コーディネーター』へお問い合わせください。

※肝炎医療コーディネーターの配置施設情報は鹿児島県のホームページで検索ください！



《肝Co認定バッジ》

★日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 市民公開講座

2025年7月27日(日) 午前中 鹿児島県医師会館で開催予定

※最新情報を随時更新中！肝疾患相談センターのホームページをご覧ください

鹿児島大学病院肝疾患相談センター →

